



五城目 広報

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
電話 (018876) 代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話 (018876) 2430番 (一部五円)
毎月1日・15日発行 郵便番号 018-17

お も な 内 容

- 2面 種苗交換会写真集
種苗交換会の入賞者
- 3面 種苗交換会写真集
交換会パンフレット配布について
- 4面 第93回秋田県種苗交換会終る
- 5面 第2回秋田県短詩大会
五城目を語る
- 6面 秋の叙勳
ゴミ収集日

・ 秋田県五城目町 ・

※ 町政と町民をむすぶ広報紙

にぎわった種苗交換会(第一会場で)



種苗交換会をおえて

五城目町長 加賀谷力司

十八年ぶりに、六日から本町で開催された第九十三回秋田県種苗交換会も、十二日の褒賞授与、閉会式で盛会裡に一週間にわたる全日程を無事終えることができました。

鉄道沿線から離れた当町に、会期中三十七万二千人と予想以上の人々を迎え、大過なく終わることができました。これは、春以来天候に恵まれ、都市計画事業を中心に道路、橋梁など環境整備が順調に進み、更に秋田県の中央部という地の利と、関係機関ならびに、二万町民の絶大なご支援助の賜と深く感謝申し上げます。

今年には米の生産調整を中心に、農業をとりまく諸情勢はきびしいものがあり、行事もこうした情勢に対応したものが多く盛られ、東北農業の将来を追究する放送農業討論会秋田県農業の将来を語る農政懇談会、このごろ急速に問題化されてきた農薬公害の対策、また新しく出品物の入賞品に対する入賞理由の表示がなされるなど、中心行事の談話会と合せて、一九七〇年以降の農業のあり方を真剣に探究し合い、参観者の関心を高めたことは、今までにない大きな収穫であったと存じます。

開会以前は、軌道が廃止され、鉄道から離れた町での開催は、交通の面で不便を来すのではなからうかと懸念しておりましたところ、八日のピーク時におきまして車が停滞した状態ではなく、当初の心配は杞憂に過ぎませんでした。ただ、駐車場の整備がおくれ、若干不便をおかけした面はありましたが、今後は恒久的な施設として確保しておくとともに、常時、他から多くの人々を呼び込めるような施設の建設が必要であると反省してある次第であります。

開会に当り私は「集まって来る人々に、町のありのままの姿をおみせし、本町を共通の広場として、相互理解と親善を深め、そこから町の進むべき方向を見出すことができたときこそ、種苗交換会を開催すべき意義がありました。つながるものである」と申し上げておりました。

種苗交換会を通じて、みなさんは町の現状や将来のあるべき姿について、改めなければならぬ点、足りない点などお気づきになりましたことが多々あったと存じます。

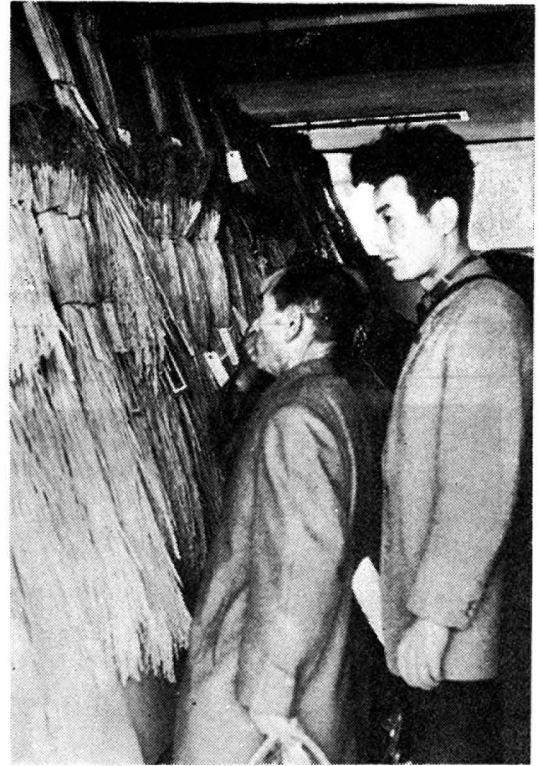
皆さまのきたないご意見をおきかせ願ひまして、二万町民総参加による、「住みよい、暮しよい、魅力ある」町づくり、さらにまい進したいと考える次第であります。

種苗交換会

町の歴史に輝しい一頁 種苗交換会成功裡に終る

第九十三回秋田県種苗交換会は六日から十二日までの一週間、五城目小学校での催しもの、農作物展示場を中心に五城目第一中学校の町物産展・即売、サーモ跡地の農機展、役場での全県短詩大会、役場前広場の秋田犬展覧会、公民館でのいけ花総合展、シネマでの林業講演会、五城目幼稚園での談話会、五城目高校での全県農業委員大会、一番町川原での馬力大会、郵便局付近一帯の植木市など本町部全城でくりひろげられました。

参観者数は延べ三十七万二千人、自動車は一日平均三千台という盛況ぶり、天の時、地の利、人の和の三原則がみごとに開花……この歩みをふりかえってみましょう。



水稻を見る目に熱がこもる



人の波がどんどん続く
(8日の参観者は15万人を越した)

各種催しものに人気集中(クボタ歌謡ショー)



種苗交換会

本町の入賞者

秋田県知事賞 巻 等賞

水稻 キヨニシキ 草皆松太郎

マスクメロン 白南遠 本間義市

貳等賞

水稻 トヨニシキ 斎藤カツエ

マスクメロン 白南遠 斎藤金寿

すぎ苗三年生 秋田杉 金野盛千郎

参等賞

水稻 トヨニシキ 一関 忠

はくさい 松島 一関 タカ

農畜産加工品 野菜のカレーピツ

クルス 五城目町農協若妻部

トマトケチャップ 五城目町農協若妻部

木炭 白炭 石井 与藏

すぎ苗三年 秋田杉 小玉徳太郎

金野 盛作

盛況だった



植木市も人気のま



農産品展示室で対談する長谷山会頭と加賀谷町長 (11月5日)



共通の広場放送農業討論会で農政をかたる加賀谷町長



秋田犬の審査風景

交換会のパンフレット配布

種苗交換会のパンフレットを五万枚発行し、案内所・会場等で四万六千枚ほど観覧者にあげましたが、残った四千枚を今後の(資料・思い出)として利用いただきたく、十六日に各町内に配分しましたので、ご活用ください。

協賛会事務局

忘れもの

会期中の忘れものを交換会協賛会事務局で保管しています。

忘れもの主なものは傘、靴、帽子などです。

厳しい農政の行くえを再認識し 第93回 秋田県種苗交換会終る

第九十三回秋田県種苗交換会の開催地が、昨年の十一月十二日に花輪会場で決定されて以来、今年の四月に事務局を設置して本格的に、その受け入れ準備に入った交換会も、現下の厳しい農政の中で数々の自信・不安・成果を残しながら、去る十二日をもって一週間をわたる全日程を無事終了しました。

これは例年に比して天候に恵まれたとは言え、関係機関・団体をはじめ町をあげて、準備や歓迎態勢をしたことと天と地の利を得たことによるものと確信して、心から喜ぶとともに深く感謝しております。

以下主要項目ごとに経過を追ってみることにします。

☆会場の配置

第一・二会場はどうしても学校施設の解放を願うより方法がなかったし、第三会場は相当の広さで地盤のかたさを要求されるなどで主要会場が一方に偏した。まず第一会場は部屋敷に不足を感じたが、環境がよく施設が整っていたので、展示物や備し物とは別に学校の立派さを県内外の観覧者からほめられた状態でした。つづいて第二会場

ですが今迄の例からすると、第一と第二の距離が割に近かったことと天候の関係等で、従来どちらかと言うと第二会場への人の流れが少なかったものが、今回は従来の数倍も多かったこと、展示および関係者のすべてから喜ばれ感謝されたこと、さらに第三会場の農機具展示場ですが、昨年の花輪会場の倍を上廻る三百余小間を配置したが第一と第二の間で、連日の人出で業者および関係者のよろこびようは大変なものでした。

他の協賛会場としては役場の全県短詩大会、全県産米改良推進集会、役場前の秋田犬展覧会、信用金庫での野口野生氏の陶芸展、公民館でのいけ花総合展、シネマでの林産講演会、馬川総合センターでの全県農業青年交流研修会、五城目高校での全県農業委員大会と全県組合長大会、一番町川原での東北馬力大会、五小決勝点の五城目上小阿仁間伏伝競走大会、養老院跡での軍鶏展覧会、郵便局付近一帯の植木市、今町緑、山手緑広ヶ野緑一帯の露店商と外小間の配置、そして交換会の中心行事である談話会を幼稚園で行ない、交換会関係者の物故者追悼

会を珠敷院で行ないました、主催行事、協賛行事合せてなかま町部全域で実施出来たものと思っております。昨年の花輪会場、来年の湯沢会場の関係視察団の話では、会場に恵まれた方だと言われました



注目をあつめた放送農業討論会

☆交通の状況

心配したものの中に交通の対策をどうするかが問題でしたが常時三千台を取容する駐車場と二千台を取容する予備駐車場を用意したが、天候の関係等で整備が完全にならず、八日の日曜日は大変に混雑しました。

しかし警察署員(県機動隊等)交通指導隊員、ボイスカウト等の働きによって、一部交通渋滞のあった外は、人身事故もなく交通安全を保ち得たことを感謝しております。

☆催し物の状況

小中高パレード、新穀感謝農民祭、開閉会式、農委・共済大会、放送農業討論会等催し物はすべて従来より二・三割増の参加者となり、当町独自の行事もまた予想をはるかに上廻った盛況で、それぞれの主催者は嬉しい悲鳴をあげるほどでした。

なかでも芸能関係は会場からあふれてなお黒山の人々、せっかくだ足を運んで入場出来なかった方々に、全く申しわけないことをしたと、おわびしているところです。

☆突風と被害

会期五日目(十日)夜半突風があり、主催および関係者を大いに心配させたが、被害は今町緑山手緑一帯の露店商小間が、約八割位が倒壊(中味はほとんどなかったもの)し、広ヶ野緑一帯の外小間は二割位倒壊し、ここは相当額の被害があったらしい。その外小学校十字路のアーチが倒れるなど、協賛会側にも若干の被害があったし、農機具展示場の小間も若干倒壊したが、昨年の花輪会場のような会期始めの突風でなかったし、被害も思ったほどでなく関係者をホッとさせた。それでも十一日朝一時半すぎまで現場で復旧監視に当たった役場職員は、雨と寒さにふるえ大空をうらめしく思ったりした。

☆車と人出

車は一日平均約三千台でしたが八日の日曜日は約九千六百台と数えられ、さすがに五城目に入る各路線は車でうずまいた状態でした。人出は一日平均約五万人(新聞発表)で、これも八日が特別に多く新聞発表は十万人としているが、事務局で各会場各路線での調査資料によると千五百人は下らないと言われている。したがって会期中の人出は新聞では三十五万七千人となつてはいるが、事務局調べでは三十七万二千人と数字が出されております。

当初事務局では会期中三十万位と予想しておりましたが、いざいざにしても大巾な増加となり五城目はじまつて以来の人出であり今後とも考えます。こうしただらうと思われたい。こうした盛況のうち第九十三回秋田県種苗交換会も、去る十二日の閉会式をもって一週間をわたる会期の幕を閉じたわけですが、これを迎え開催するにあたって、直接にご協力をいただいた方々はもとより、広く町民の関心、理解と積極的な協力ご支援の大きかったことをじかに知らされ全く頭の下る思いでいっぱいです。ここで重ねて感謝申し上げますことと、今後ともこうした大事業の遂行のためには、挙町一致で立ちあがることを念じて第九十三回秋田県種苗交換会の概況をお知らせします。

第二回秋田県短詩大会 生活に根ざした詩情 四百二十五の作品があつまる

日本の風土のなから生れた短歌、俳句、川柳について交流と向上をはかるための「第二回秋田県短詩大会」は種苗交換会協賛行事としてさる十一月八日、五城目町役場を会場にして開かれました。

この大会には川柳九十七首、俳句百五十句、短歌百七十七首の作品応募があり、八十名の参加者を得て盛り上がりのある内容であった。

当日の成績は次のとおりであります。

短歌部門

- 選者賞(一関吉美選)
- 第一位 横手市 佐々木みや子
- 互選賞
- 第一位 五城目町 柴田敏雄
腹這いて向きあう幼児とかぶと虫涼しき縁に童話の生れよ
- 第二位 五城目町 藤原正二
姪もり妻と来て立つサルピアの葩あるところ昏れはやき芝
- 第三位 飯田川町 石沢なよ
あかるみにまばたきをするみどり児は吾が一人娘の吾の初孫
- 第四位 八郎潟町 伊藤武美
満月の牙え渡りゆく寒き窓母に頼られつつさみしく学ぶ
- 第五位 八郎潟町 三戸れい子
幾月かこらえし涙止め度なく夫病むなげき君に告ぐるとき

俳句部門

- 選者賞(田口声穂選)
- 第一位 能代市 本間 旭
妻の座の支え重たき稲架返す
- 第二位 秋田市 伊藤青砂
コオロギ鳴く青年あの夜兵となる
- 第三位 八郎潟町 佐藤美代
菟にたそがれ梨の皮ごと食う農

川柳部門

- 選者賞(伊藤拍車選)
- 第一位 大館市 務安文海
おれの影コンブの如く揺れもす

冷ええいと窓を濡らして霧降る
夜帰る夫なき戸に施錠せり
第二位 五城目町 柴田敏雄
平安のながく続けよ吾子にむく
リンゴの皮は渦巻きて垂る
第三位 横手市 佐藤殺子
炭焼きの一芸仇となりゆくを老
いし樵夫は悲しみて酔う
第四位 秋田市 藤沢戸子
張り終えし障子に夕日流れ来て
わずかに今日の充足があり
第五位 五城目町 館岡克巳
暮れ迫る田ごとの薬火たしかめ
て汗ばむからだ畦に横たう

婦
第四位 横手市 佐藤殺子
生活の夜月にたたいて今日を終
ゆ
第五位 八郎潟町 井川春泉
ほうれん草の青さ遠景になる故
郷

る
第二位 能代市 武藤征二
敗走・河口を夕日がのぼつてく
る
第三位 六郷町 沢田摘草
無神論者の女教師おみくじ買い
つつげ
第四位 森吉町 九島秀夫
戦鬪帽が似合う男で撃たれたよ
第五位 十文字町 今田洋風
落陽の瓦礫影曳く休耕地

互選賞

- 第一位 五城目町 館岡克巳
大根引く妻の身につく木こそは
- 第二位 秋田市 村沢栄子
木の実落つ一つ一つの地の応え
- 第三位 井川村 鈴木 清
雲の重さで錆びる鉄線枯れだす
- 野
- 第四位 大内村 遠藤東坡子
休耕の田もみじ一搾の碑
- 第五位 五城目町 猿田天鳴
一溪の紅葉奢りし離村ダム
- 互選賞
- 第一位 大館市 桜庭とみ
住み変える気もなし田螺生き続
け
第二位 五城目町 今野一城
追憶が義足をとめた歩道橋
- 第三位 森吉町 九島秀夫
戦鬪帽が似合う男で撃たれたよ
- 第四位 秋田市 渡辺無外
熱の手へのひら赤く永割る
- 第五位 秋田市 沢石やえ
現代ッ子目の玉青くならぬかし

五城目町を語る

六日から十二日まで五城目小学校を主会場、五城目第一中学校を第二会場に、また第三会場はサーモ跡とくりひんげられた種苗交換会は入出三十七万二千人という盛況のうちに終りました。

この期間中、五城目を語ってくれた人々、その中から一部をご紹介します



①職業柄 県下を廻るおれですが、五城目町の印象はいかがですか。



②とくに、町にこうしたらもつとよくなるというご意見がありますか。

①約半月 五城目で寝起したわけですが、なかなかよくまとまった町

答 とにかく道路に力を入れて距離感をなくして発展の糸口をつかんではしい。

十賀かほる



①都会での舞台が多いので五城目にきて感じ

印象はいかがですか。

静かで空気もうまいし落着きがあつていいところです。私も人間性タレント性を身につけて修業にはげみたいと思っています。

道路網の整備を

NHK放送記者 柴田 祺敬

ままとっている町だと思います。

②交換会を期に整備されたものを生かしてほしいと思います。

人間性にとんでいること。五城目の空気はうまい

星 不 道

農協中央会 岡部 勇作

問①全国 各地をおまわりのことと思

秋の叙勳

畠山松太郎氏に勳六等
本町出身の小松・館岡氏にも叙勳

政府は文化の日の三日付けで、秋の叙勳・賜杯を受けるかたの氏名を発表した。

本町からは畠山松太郎氏が勳六等に、また、本町出身の八郎潟町住の館岡豊治、小松秋明の両氏に勳五等が与えられた。



に尽力。
秋田師範中退

◎勳五等双光旭日章
▽館岡豊治(栗山) 73

五城目町高崎出身
現住所 八郎潟町字大道一―一

日本画家
県日本画
家連盟会
長として
後進の指
導、育成



医師。学
校保健団
体の組織
化に努力
元県医
師会代議

▽小松秋明 87



地方自治の伸展に尽力した。
五城目町字上町二五七

◎勳六等単光旭日章
▽畠山松太郎 76

員。元郡医師会議長として学校保健
健興に尽力
愛知医専卒
五城目町館岡出身
現住所 八郎潟町字一日市三九三

秋田県総務部次長、宮田周悦氏
父、母香典返しに老人ホーム森山
荘に役立ててほしいと金参万円を
町に寄付された。
今村さんから国旗五

拾得物のお知らせ

今年の五月二十二日、築地町、
高性寺の境内で金張指輪「直径一
、七cm、幅〇、八cm」を拾得し警
察へ届出してありましたが保管期
限が過ぎても落し主があらわれま
せぬので拾得者へ返すことになり
ましたので、貴重なものでもありま
すので心当りの方は役場秘書室へ
ご連絡願います。

町勢要覧できる

十一月二十五日～二十月十日
くわしいことは秋田海上保安部
秋田市土崎港西一丁目

学生募集

昭和四十五年度海上保安大学校
海上保安学校(水路科、燈台科、
普通科)学生を募集しています。
受付期間

町民のみなさんへ

※要覧をご覧になったかたは、
気のついた点を総務課広報担当者
にどしどしお寄せください。

- ◆ あなたの町内や部落の話題を
およせください。
- ◆ 広報発行の資料とします。
- ◆ メモ形式で結構です。
- ◆ 封書、ハガキ、電話などでお
知らせください。
- ◆ 総務課広報担当者宛お願いします。

執務時間の変更

十一月から二月末日まで、役場
の執務時間がつぎのようになります。
すので、ご協力ください。
午前八時三十分から午後四時三
十分までです。

ごみ収集日

家から出るごみ収集日はつぎのとおりです。

町名	1 2 月			
	1回	2回	3回	4回
希望ヶ丘町	2	8	15	23
田今町	2	8	15	23
御蔵町	2	8	15	23
小川町	5	12	20	27
新番町	5	12	20	27
一古川町	4	11	18	26
新畑町	3	10	17	25
矢場崎町	3	10	17	25
紀久栄町	4	11	18	26
長仲町	1	9	16	24
米沢町	1	9	16	24
畑地町	7	14	22	29
畑辰町	7	14	22	29
昭館町	3	10	17	25
中川原町	5	12	20	27
館城町	5	12	20	27

※収集車の巡回について、つぎの事項にご協力ください。

- 1、収集車が町内を巡回する前に各自のポリ袋を道路へ出しておくこと、またポリ袋の近くに収集車の邪魔になるような物を置かないように。
 - 2、収集車が入って行けない小路に面している方は当日巡回道路までポリ袋を適当な場所へ持出しておいて下さい。
 - 3、不燃物には標箋を忘れないでつけて下さい。
- ◎ポリ袋、標箋は最寄の委託店でお求め下さい。

町税完納強調月間中

完納で
住みよい暮らし
魅力ある町づくり

国民年金・水道料・住宅使用料・
ごみ処理手数料も忘れず完納を